

令和5年8月21日 定例記者会見

【市長あいさつ（要旨）】

一昨日の土曜日には、「こまき令和夏まつり」がラピオ周辺の会場で、「秋葉まつり」と同時開催され、約5万人という多くの方にお越しいただき、大変盛況であった。来月の16日には、「小牧山薪能」や「こまき信長夢夜会」の開催、10月21日、22日には、市内最大のイベント「小牧市民まつり」も予定している。イベントについても、従来通りのにぎわいを取り戻していきたいと思っている。

本日の案件は、令和5年小牧市議会第3回定例会の提出予定議案である。上程議案数は、決算12件、条例案8件、一般議案2件、補正予算案6件、人事案1件の合計29件を予定している。

また、提出議案に関連して「自治会活動再開支援交付金について」、「小牧駅周辺整備事業について」及び「小規模保育改修費等支援事業補助金について」を詳細に説明する。また、「職員の名札の変更について」を発表する。

【説明要旨】

■ 令和5年小牧市議会第3回定例会提出議案について

[決算]

一般会計は、収入済額636億3,806万8,905円、支出済額607億3,071万8,154円で翌年度へ繰り越すべき財源4億487万503円を差し引き、25億248万248円の実質収支となった。

特別会計では、収入済額263億6,717万2,177円、支出済額260億197万8,200円で翌年度へ繰り越すべき財源1億9,487万2,000円を差し引き、1億7,032万1,977円の実質収支となった。

令和4年度小牧市病院事業決算について、損益計算書上の収益的収入が251億2,258万9,675円、支出が246億9,274万1,805円で、差し引き、4億2,984万7,870円の純利益である。資本的収入は9億6,503万6,768円、支出が20億8,649万9,062円である。

令和4年度小牧市水道事業決算について、損益計算書上の収益的収入が27億9,546万9,983円、支出が25億2,168万5,087円で、差し引き、2億7,378万4,896円の純利益である。資本的収入は4億2,849万8,640円、

支出が29億5,054万2,789円である。

令和4年度小牧市下水道事業決算について、損益計算書上の収益的収入が28億2,742万7,176円、支出が28億3,412万7,176円で、差し引き、670万円の純損失である。資本的収入は、13億3,314万120円、支出が17億6,086万548円である。

[条例案]

「小牧市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

新型コロナウイルス感染症対策業務に係る防疫作業手当の特例を廃止し、職員が、特定新型インフルエンザ等から市民等の生命及び健康を保護するために行われた措置に係る作業であって市長が定めるものに従事したときは、防疫作業手当として、それぞれの作業に応じて市長が定める額を支給するものである。

「小牧市公民館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について」

市内公共施設の使用料に適用する子供の区分の見直しを行い、施設使用料を小人として適用する者の対象について、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者に見直すものである。

「災害応急対策、災害復旧等のため派遣された職員に対する災害派遣手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正に伴い、災害派遣手当の支給の対象を、特定新型インフルエンザ等対策の実施のために派遣された職員に拡大するものである。

「小牧市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について」

蓄電池設備について、単位をキロワット時とし、蓄電池容量が10キロワット時以下のもの及び10キロワット時を超え20キロワット時以下のものであって一定の出火防止措置が講じられたものを規制の対象から除くこととするとともに、火災予防上必要な措置の見直し等を行うものである。

「小牧市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

移動端末設備を使用して、多機能端末機により印鑑登録証明書の

交付を申請し、その交付を受けることができることとするものである。

「小牧市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、引用する規定の整備を行うものである。

「小牧市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

建築物の制限を行う区域に舟津地区整備計画区域を加え、舟津地区整備計画区域における建築物の用途の制限、壁面の位置の制限、建築物の敷地面積の最低限度及び建築物の高さの最高限度を定めるものである。

「小牧市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について」

公園施設である建築物の建築面積の当該都市公園の敷地面積に対する割合は100分の2を超えてはならないとする規定について、公募対象公園施設である建築物に限り、敷地面積の100分の10を限度として建築面積を超えることができることとし、都市公園の管理を指定管理者に行わせることができることとし、指定管理者の指定の手続等について定め、公園施設の設置及び管理の許可に係る使用料を次の表のとおりとするものである。

[一般議案]

「小牧市道路線の廃止について」

小木南一丁目6号線ほか1路線を廃止するものである。

「小牧市道路線の認定について」

小木南一丁目6号線ほか4路線を認定するものである。

[補正予算案]

《概要》

・一般会計

補正前の額に5億1,740万2千円を追加し、621億1,347万5千円とするものである。

・特別会計

国民健康保険事業特別会計及び後期高齢者医療特別会計の2会計で3,417万2千円を追加し、174億5,435万4千円とするものである。

・企業会計

病院事業会計では、収益的収入で9,866万8千円を増額し、237億4,355万4千円とし、収益的支出で1億3,385万6千円を増額し、264億8,437万8千円とするものである。また、資本的支出では、560万円を増額し、21億7,283万9千円とするものである。

下水道事業会計では、収益的収入で2億1,970万9千円を増額し、34億1,796万8千円とし、収益的支出で2億1,971万9千円を増額し、33億6,791万3千円とするものである。

《令和5年度小牧市一般会計補正予算（第6号）》

●歳出

「自治会活動再開支援交付金」

コロナ禍以前に行われていた地域の諸行事の再開を支援する制度の申請件数が想定を上回ったことにより増額するものである。

「自転車乗車用ヘルメット購入費補助金」

道路交通法の改正により、自転車乗車時のヘルメット着用が全国で努力義務となったことに伴い、申請件数が大幅に増加したことにより増額するものである。

「環境事業基金積立金」

日本ガイシ株式会社様から社内環境活動の取組による寄附があり、環境事業基金に積み立てるものである。

「障害者自動車改造助成費」

障害者の社会参加を促進するため、自動車の改造費用や運転免許取得費用を助成するもので、当初見込みを上回る申請があるため、増額するものである。

「住宅改修費助成金」

市民税非課税世帯に属する65歳以上の虚弱な高齢者等で、住宅改修を希望する方に、改修費用を助成するもので、当初見込みを上回る申請があるため、増額するものである。

「児童クラブ運営事業」

職員の事務の効率化を図るため、児童の入退室管理が行えるシス

テムを導入しようとするものである。

「小規模保育改修費等支援事業補助金」

更なる保育の受け皿を確保する必要があるため、増額しようとするものである。

「生活保護システム修正委託料」

令和5年10月以降に適用開始となる生活保護基準の見直し等に対応するため、システムを改修しようとするものである。

「新型コロナウイルスワクチン予防接種事業」

令和5年9月開始の予防接種に要する経費を増額するものである。

「中小企業環境保全対策設備等導入補助金」

当初見込みを上回る申請が見込まれることにより増額するものである。

「航空機等部品製造認証維持支援補助金」

新型コロナウイルス感染症により打撃を受けている航空宇宙産業関連事業者に対し、認証制度の認証維持に係る経費について補助を行うため計上するものである。

「定住促進補助金」

将来にわたって活気あるまちづくりにつなげることを目的に、若年世代の住宅取得やリフォーム等に係る費用の一部を補助することで若年世代の定住促進を図るもので、当初見込みを上回る申請が見込まれることにより増額するものである。

「土地区画整理事業関連整備事業」

文津及び小牧南土地区画整理地内において、区画道路の施工時に使用した改良土等を原因として発生したと推認される道路の変形について、補修するための経費を計上するものである。

●繰越明許費補正

「（仮称）農業公園整備事業」

農業公園施設用地造成工事について、令和5年3月にボーリング調査を行い、令和5年5月に確定した土質調査の結果により、基本設計に変更が生じ、造成等について改めて県と協議を行う必要があり、工事着手時期が遅れることから、年度内完了が困難となるため、工事費を繰り越すものである。

●債務負担行為補正

「市税電話催告等委託事業」

収税課において電話催告等の業務を委託し、徴収体制を強化するため、設定するものである。

「障がい福祉事務支援委託事業」「福祉医療事務支援委託事業」「保険医療課窓口業務委託事業」「食の自立支援事業委託事業」「高齢者福祉医療事務支援委託事業」「こども未来館受付業務及び講座開催委託事業」

令和6年4月から業務を委託するにあたり、その受託者の事前準備期間が必要であることから設定するものである。

「小牧駅前広場等整備基本計画策定支援委託事業」

駅前広場などの機能再配置の検討や整備手法・手順・民間活力の導入等の検討などを行い、整備に係る基本計画を策定するものだが、次年度に委託期間がまたがることから、支障なく業務を進めるため設定するものである。

「市民会館施設整備事業」

市民会館ホールの舞台照明設備において、令和5年1月の点検時に調光基盤が故障し、緊急修繕を行ったものの、部品はすでに製造中止となっており、今後修繕することができないため、ホール舞台照明設備の更新を行おうとするものだが、工期が次年度にまたがることから、支障なく工事を進めるため設定するものである。

●地方債補正

「農業公園整備事業」

国庫補助金の確定による借入額の整理である。

《令和5年度小牧市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）》

●歳出

「国民健康保険システム修正委託料」

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の法律の改正により、出産する被保険者に係る産前産後の国民健康保険税の軽減が令和6年1月に施行されることに伴い、システム修正を委託する経費を計上するものである。

●債務負担行為補正

「国民健康保険事務支援委託事業」

令和6年4月から業務を委託するにあたり、その受託者の事前準備期間が必要であることから設定するものである。

《令和5年度小牧市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）》

●債務負担行為

「食の自立支援事業委託事業」

令和6年4月から業務を委託するにあたり、その受託者の事前準備期間が必要であることから設定するものである。

《令和5年度小牧市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）》

●歳出

「療養給付費負担金」

令和4年度の療養給付費が確定したことに伴う精算で、広域連合への負担金を増額するものである。

「保険料還付金」

令和4年度以前に納付された保険料に係る還付金を増額するものである。

●債務負担行為

「後期高齢者医療事務支援委託事業」

令和6年4月から業務を委託するにあたり、その受託者の事前準備期間が必要であることから設定するものである。

《令和5年度小牧市病院事業会計補正予算（第2号）》

●収益的収入の補正

医療事故損害賠償金等の支払いに伴う、損害保険会社からの保険金の増額である。

●収益的支出の補正

看護師用被服費及び医療事故による損害賠償金の増額などである。

●資本的支出の補正

第一立体駐車場に歩行者通路等の路面標示を施工するための費用である。

《令和5年度小牧市下水道事業会計補正予算（第1号）》

●収益的収入の補正

歳出の補正に伴う一般会計補助金の増額等である。

●収益的支出の補正

下水道管の布設時に使用した改良土等を原因として発生したと推認される道路の変形について、補修するための経費を計上するものである。

[人事案]

「小牧市教育委員会委員の任命について」

委員 加藤 由美氏の任期満了に伴い、後任者に同氏を任命しようとするものである。

■自治会活動再開支援交付金について

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、地域行事が中止や停滞を余儀なくされたことで失いつつあった地域のつながりを取り戻し、継続していくために、コロナ禍以前に行われていた地域の諸行事の再開等に対して必要な経費を交付する制度である。自治会（区）もしくは自治会に属する活動団体が対象であり、1事業につき10万円、2事業以上には20万円までを交付額としている。

本年5月に新型コロナウイルス感染症について感染症法上の分類を5類感染症に位置づけ変更されたこともあり、申請が相次ぎ、当初予算が不足する見込みとなり、第3回定例会において、補正予算を計上する。

交付金の申請状況としては、8月10日時点で129区のうち78区より申請があり、12,532,900円の交付額となっている。また、交付金の申請済みの78区を行事別に見ると、新規行事が13行事、再開行事が122行事の併せて135行事となっている。

■小牧駅周辺整備事業について

本市では、令和4年3月に「小牧市中心市街地グランドデザイン」を策定し、計画の実現に向けた方針の一つとして、「民間活力を活かしたまちづくりの推進」を掲げている。

一方、名古屋鉄道株式会社と本市は、持続可能な魅力と活力あふれる都市の実現を目指し、「交通・観光・まちづくりの推進に係る包括連携

協力に関する協定書」を令和5年5月9日に締結した。このことから、今般、小牧駅周辺整備事業については、東西の駅前広場や都市公園、名鉄小牧駅ビルを一体的に捉え、交通結節点機能の強化、集い・憩いの場の創出等を図ることを具現化する「小牧駅前広場等整備基本計画」の策定を同社と連携、協力して進めることとした。また、同社とは令和5年8月10日に「小牧駅周辺整備事業に係る連携・協力に関する覚書」を締結し、整備計画の検討段階から連携、協力し実施することとした。

第3回定例会において、「小牧駅前広場等整備基本計画」の策定するために必要な経費を令和5年度から令和6年度までを期間とし、限度額を1460万円として債務負担行為補正をする。

■小規模保育改修費等支援事業補助金について

本市では、本年4月から市独自の少子化対策の拡充として、市内の保育園、認定こども園、小規模保育事業所に通う0歳児から2歳児までの保育料を無償化したことにより、今後、保育園の利用を希望する申請者が増加することが想定され、0歳児から2歳児の保育の受け皿を速やかに確保する必要がある。

この補助金の目的は、事業者が賃貸借物件を活用して、小規模保育事業所を設置する際に必要な整備費用の一部を補助するものであり、本年5月26日から、新たに2箇所の小規模保育事業所を整備するため、小規模保育事業所を設置、運営する事業者を公募したところ、2事業者から3施設の提案があった。事業者の審査では、事業者の基準に問題はなく、8月時点において0歳児及び1歳児の空きがない状況であることから、当初2箇所の整備に相当する予算を計上していたが、更なる保育の受け皿を確保するため、予算上不足する1箇所分の補助金を補正予算として計上する。

令和6年4月までの開園を目指し、今後の保育需要の増加に対応していく。

■職員の名札の変更について

主な変更点として3点ある。

1点目は、氏名を名字のみとし、文字を大きくすることである。これは、フルネームから名字だけの表記とし、名前の文字を大きくすること

で市民だけでなく、職員からも名前を見やすくするためである。

2点目は、顔写真に代え、市のSDGs未来都市やブランドロゴマークを掲載することである。職員は、身分証を持っているので、名札に顔写真を載せる必要性が低いため、このスペースを活用し、本市の取り組みをPRするものである。

3点目は、ストラップを使用すると、名札が回転し裏面を向いてしまうこともあることから、名札入れに裏表2枚を入れて、裏返っても名札が見えるようにすることである。

その他のメリットとしては、現行のプラスチックの場合は、人事異動の際、課名や職名のシールを印刷し、それぞれカットして人事課の方で配布をしている。しかし、年度末に短期に異動に伴う作業が集中し、時間を費やしているため、今回の紙に名札を印刷する場合は、作業日数を3日から1日程度を短縮できると見込んでいる。